

敦賀港鞠山南CFS（コンテナ・フレート・ステーション） の竣工式が行われました！

福井県が敦賀港鞠山南地区国際物流ターミナルで建設を進めてきた「敦賀港鞠山南CFS」が完成し、平成25年11月12日（火）に敦賀港整備促進期成同盟会主催の竣工式が行われ、供用が開始されました。

竣工式では、始めに西川福井県知事から「CFS完成により大きく利便性が向上する。来年の舞鶴若狭自動車道の全線開通で物流は大きく変わり、日本海側の物流拠点として敦賀港の役割はますます重要になる。」と式辞があり、続いて河瀬敦賀市長から挨拶、福井県議会、敦賀市議会から祝辞、その後テープカットなどが続き、初荷の荷捌きにより供用が開始されました。初荷は台湾から釜山経由で輸入された糸の原料で、CFSで荷さばきされ県内企業に運送される予定となっています。

敦賀港の外貿コンテナ貨物取扱量は、3年連続過去最高を更新するなど大きく増加しており、CFSはこの増加に対応するため、平成25年3月に着工し約5億をかけ建設したものです。

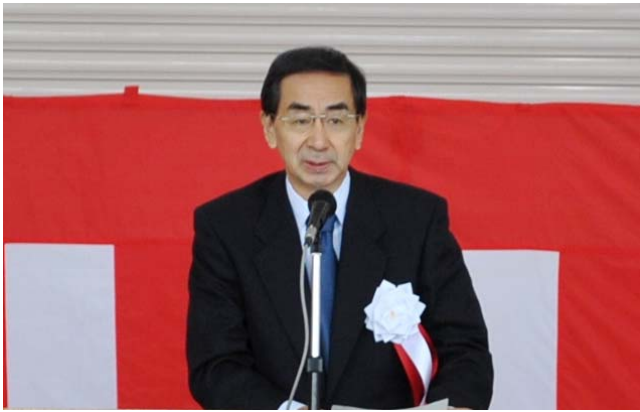
CFSの構造は、鉄骨造り平屋建ての高床式で、川崎・松栄地区で平成14年から使用してきた市のCFSの約1.5倍である2,608㎡の広さとなっています。

このCFSが完成したことで、これまで自社倉庫などを経由していた貨物を、工場から直接港に輸送することが可能となり、時間短縮と経費削減につながります。これにより、荷主の方々にとっての利便性向上、ひいては敦賀港の物流機能の強化に寄与することが期待されています。

CFS(コンテナ・フレート・ステーション)とは

コンテナ1本に満たない小口貨物を他の荷主の貨物と混載する場合や、荷主がコンテナ以外で港に荷物を持ち込んだ場合に、コンテナへの荷詰め荷捌きを行う施設のことです。





西川一誠 福井県知事の式辞



河瀬一治 敦賀市長の挨拶



鞠山南CFS完成を記念したテープカット



竣工式の様子



コンテナから初荷の運び出し



鞠山南CFS内での荷捌きを披露



完成した鞠山南CFS